論文要旨

本稿は、茨城県取手市・龍ヶ崎市における起業支援活動を分析し、地域で起業支援を行う際のポイントを提言した。

一般に起業支援といえば、グローバルな成長を目指す起業を対象とすることが多い。しかし、本稿は、地域の需要に対して個人や少数の人間が協働して事業を興す「小さな起業」を対象としている。本文では、まず、「小さな起業」がなぜ重要なのかを述べ、続いて、取手市・龍ヶ崎市で展開されている起業支援の活動内容とこれまでの成果を示した。そして、活動内容を読み解き、他の地域が起業支援の仕組みを作る際に留意すべき点として、「地域政策として起業を位置付ける」ことと「仕組みを構築する」ことが重要であること、さらに「仕組みを構築する」ためには「関連する取組みをつなげること」、「起業家と事業家、市民が刺激を与え合う場を作ること」、そして「地域で起業循環と経済循環を実現すること」がポイントであることを示した。